

UNIVERGEにおけるプラットフォーム製品

Hardware Platform of UNIVERGE

大 武 章 人^{*}
Akihito Ohtake



1. はじめに

平素より弊社のIT、およびネットワーク商品のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

NECは2003年11月に業界に先がけて、企業向けIT・ネットワーク統合商品「UNIVERGEシリーズ」を発表し、以後それらをプラットフォームとした数々のソリューションを提案してまいりました。その間、企業ネットワークにおいてはIP化とモバイル化の進展に加えて、ITとネットワークの統合によるオフィスの知的生産性向上などのニーズが多様化してきています。特にIP電話を中心としたソリューションは、先行導入フェーズから本格導入フェーズへと移行が進み、市場が本格的に立ち上がってきました。こうした市場環境の中で各競合ベンダーも、IT/ネットワーク統合ソリューションを指向してきており、連携や買収などによりUNIVERGEを猛追し、現在、熾烈な競争を繰り広げています。

2. UNIVERGEソリューションを支える プラットフォーム製品強化への取り組み

このような状況のなかで、他社との競争優位を図るために、以下に示す製品のラインナップ拡充や機能強化により、「UNIVERGEシリーズ製品」の競争力強化に取り組んでいます。

2.1 製品ラインナップ拡充による適用領域の拡大と最適化

IP電話オニーサーバSV7000は、導入が容易な小容量モデルから、中容量、大容量、さらには今後超大容量モデルを供給することでフルラインナップ化を実現します。これにより、大規模ユーザが本社で大容量モデルを使って集中的に通信処理を行う構成、各拠点で中小容量モデルを使って分散して通信処理を行う構成、さらに中小規模ユーザ

が小容量モデルを採用するケースなど、お客様の多様なニーズに合わせて柔軟に対応することが可能となります。また、無線LANシステムWLシリーズ、高性能アクセスルータIXシリーズ、ハイエンドIPルータ/スイッチIP8800シリーズ、モバイルIPシステムMBシリーズの各UNIVERGEシリーズ製品も、大規模から小規模までモデルを取りそろえ、それぞれ適用領域の拡大を図り、さらなるシェアアップを目指します。

2.2 機能強化による製品競争力の向上

(1) セキュリティ機能強化

総務省の調査によれば、2004年に企業が情報セキュリティの被害を受けた割合は83%に達しており、マスメディアでも企業のウェブサイトへの不正アクセスなどのニュースが相次いでいます。今後、ユビキタス環境を活用した通信サービスを企業が利用する機会が増大する中、データ転送や通話へのセキュリティ強化が、ますます重要な課題になってきています。ユーザが安心して通信サービスを受けられるようにするために、UNIVERGEシリーズ製品はシステム全体が連携した動作を行うことにより、セキュリティを強化します。

SV7000はSIP電話機と連携した、呼制御信号や音声データの暗号化により、なりすましや盗聴を防ぎ、強靭なVoIPセキュリティを提供します。またIXシリーズは業界トップクラスのルータ性能を維持しつつ、VoIPデータの通過を通話ごとにポートを開閉処理するファイアウォール相当の動作を行うことにより、社内ネットワークへの不正トラフィックの侵入を防ぎます。さらに無線LAN電話機MHシリーズは、無線LANの高度なセキュリティ規格（IEEEによる次世代暗号化方式WPA2「Wi-Fi Protected Access2」におけるPMK「Pairwise Master Key キャッシュ技術」）の採用により、無線区間でのなりすましや盗聴の防止などセキ

* 執行役員常務
Senior Vice President

ユリティ強化と高速なハンドオーバーを共に実現します。これによって、ユーザは安心、安全、快適、高信頼な通信サービスを受けることが可能になります。

(2) ユビキタス環境への対応力強化と通話品質の向上

従来の企業の通信環境では、外出中にお客様から会社に掛かってきた電話に出られず重要なビジネスチャンスを失ってしまうケースがありました。いつでも、どこにいても、お客様からの電話を受けられるようにするために、「UNIVERGEシリーズ」は、SV7000、WLシリーズおよびNECが先行市場投入したFOMA®/無線LANデュアル端末N900iLの連携により、社内では無線LANによる電話、社外ではFOMA®への転送を行い、従来にないシームレスなモバイルコミュニケーション環境を提供します。さらに、プレゼンスサーバとの連携により、通信したい相手のプレゼンス状況を事前に確認することで、電話、メール、音声メールなどから最適なコミュニケーション手段を選択し、効率的に意思疎通を図ることが可能となります。

また、無線LAN環境下でのIP電話の音声品質も重要な要素であり、WLシリーズではNEC独自のVoWLAN品質制御プロトコルを採用しています。さらに、アクセスポイント間でユーザ認証情報を共有することにより、業界トップクラスの高速ハンドオーバ時間を見実現させ、ユーザがフロアを移動してアクセスポイントが切り替わる時に発生する瞬断時間を短縮し、従来のPHSと同等の高品質な音声サービスが利用可能になります。

以上のような機能によるソリューションはすでに多くの企業で採用され、企業のVoIP導入拡大を牽引しています。

(3) 多様なサービスへの対応

お客様の多様化するニーズに応えるためにUNIVERGEはさらにソリューションの提供を拡大していきます。たとえば、SV7000のアプリケーションインターフェースを強化拡充することで、「UNIVERGEパートナープログラム」登録企業と連携し、サードベンダーによる魅力あるアプリケーションソフト開発を加速します。

また、多機能電話機、ソフトフォン、無線LAN電話機、プラウザフォンなどのVoIP電話機のプラットフォームの共通化を図り、端末機能および操作性の統一化、ラインナップの充実などを進め、お客様の様々な利用環境への対応、利便性を高めています。

3. むすび

NECが培ったコンピュータとコミュニケーションのノウハウ、および先進のIT・ネットワーク技術の融合によって実現したUNIVERGEプラットフォーム製品は、ますます多様化し、高度化するニーズにお応えするために、テクノロジリーダ、プロダクトリーダとして今後さらに発展させ、成長させていく所存です。引き続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

* FOMAは、株式会社NTTドコモの登録商標です。